

～名所旧跡を巡って～

歴史スポットからひも解く

テーマ：現地探訪 住吉大社・住吉津

講師：若井 敏明先生

日時：11月24日（金） 10:00～14:30



前日までの暖かさは何処へやら、少し寒く、風も強い中、全員で頑張りました。摂津国一の宮、千年に達する楠や600余基の石灯籠に囲まれ、熊野参詣や伊勢参宮向う人々が道中の無事を祈願し、一寸法師もこの津から出発したと伝わる航行の守護神社住吉大社を若井先生の御案内で探索しました。

（住吉さんへの直近の参詣は数年前で、落葉掃除をお手伝いし、細かい石の間に埋まる枯葉集めに閉口した経験があります。結構力が必要でした）。

（探索開始です）。

先ず、遣唐使進発地の石碑（遣唐使、入唐使の航行の安全を祈る）を左に見、鳥居をくぐり遺跡より発掘された舟のモニュメント（住之江万葉歌碑）を見学し、有名な反橋（朱塗り太鼓橋）を怖々渡り（筆者：歴史大好き素浪人は杖の為、回り道をし、島津家祖忠久誕生石を見ました）



遣唐使進発地の石碑



船のモニュメント前で

幸寿門をくぐると伊弉諾尊が黄泉の国から戻った時に禊を行い、綿津見三神と共に生まれたと云われる住吉三神と神功皇后が御祭神で、四つの本宮は檜皮葺の屋根、妻入り、切妻造り、高床朱塗りですべて同じ大きさと云われております。



また、縦列に並ぶ本宮は珍しいらしく、古代にはもっと近くに海があり、航海する船団を表すのではといわれています。

(先生、早いよ、もう一寸ユックリ歩いて)。



御文書館、伊勢遙拝所をチラッと見、神宮寺跡石碑とその名残を残す招魂社本殿跡で往年の神仏分離の儂さを感じる人は少なくないでしょう。一粒万倍の種貸神社は大変ご利益があるようで皆さん熱心に祈っておられました。

(本日のメインイベントの一つ)



大海神社



大海神社は、海岸線が近くにあったと云う物証（段丘）もあり、住吉よりも古いと云われ、津守氏が元々の神を祀っていたと考えられています。（博多住吉神社は住吉信仰の始まりは博多住吉と云う）。

(一寸、疲れてきました、さあもうひと頑張りです)。

夫婦楠、楠珞神社、宝物館跡、五大御守石群を通り、石舞台で演舞の舞を想像し、武芸館、卯の花苑、車返し桜を横目で眺め、収益、収穫、成就の神を祀る大歳神社で重軽石(3ヶ)を持ち上げて運試しを行った後、七福神、女神、福神華道の神を祀る浅沢神社でお参りしました。



五大力 石守



重軽石、二回目が軽く感じられた！

(お疲れ様でした)。

最後は、住吉津(阿倍野王子)までの熊野古道(小栗街道)史跡巡りです。元気で完歩された方も多いと思います。素浪人は体力の衰えを痛感し棄権ですが、棄権組同士のアベノハルカスでの食事会は大変楽しかったです。(記事:歴史大好き素浪人)